

# 新たな市民と野党の共同めざす全県交流会議、 議事録2020|25

主催：兵庫革新懇・兵庫憲法共同センター

2020年初頭の“新たな市民と野党の共同めざす全県交流会議”は1月25日高教組会館ホールで開催。11団体から15名・12行政区から16名・その他事務局など計35名が参加、『高知県における地域共同づくり』の歴史的到達点の講演を学び、今年前半のたたかいの方針提起を受け、2団体7行政区から活動報告が行われ、討論の上3点のまとめで締めくくりました。

## 【高知県の野党共闘についての講演】

高知から駆けつけた「戦争法廃止須崎の会」事務局長・八木敬三郎さんが14ページにわたる高知県のたたかいの歴史を、同14ページの資料も駆使し、明解な口調で全国最先端の野党共闘の実態を解説しました。八木氏はまず、高知県全体の特徴として“にわか”共闘でなく2010年頃から基地・原発・自然エネで頑張る諸組織の共同が基盤となり、恒常的な『高知憲法アクション』がつくられ、さらに『立憲・平和・共生県民連合、高知』を名称とする選挙運動を行う体制が出来上がり、現在に至ったと述べました。県内のあらゆる要求団体（組織）がフルラインで存在、それぞれが立場を超え恒常的共闘へ結集するスタイルを貫いていることが基盤だと語りました。

2015年以降、各級選挙戦は、『高知憲法アクション』と各野党は「合同選対」方式ではなく統一司令部として「政治団体方式」を目指し、それが『立憲・平和・共生県民連合、高知』となり、各党と憲法アクションが事務局員を出し、毎日事務局会をもち情勢分析を行い戦術を決定して行きました。事務所を訪れた報道機関は「これは他では見られない珍しい」と「本物度」に感心したそうです。

これで力を発揮したのが様々な女性・若者・ママなどのグループで、HP・FB・ツイッターを駆使する「プレイヤー」となり、新たな層の参加へ飛躍していきました。

この教訓は、それぞれの考えの違いを乗り越え「顔合わせ」「腹合わせ」「知恵合わせ」を徹底、「9・6・3、勝利の方程式」（共闘組織の9割を固め、無党派層の6割を獲得し、保守の3割を崩す）で奮闘尽くすというものでした。

さらに八木氏は、行政区ごとの市民と野党総結集への参考例として、南国市・須崎市の諸市民グループと野党の共同成立への過程もリアルに説明しました。有権者4万人の南国市では、2018/1各団体代表と民進・社民・新社・共産の11名で「市民アクション」を立ち上げ、1万人の署名を集める目標で意思統一。全戸に料金後納郵便つき署名簿を配布、このあと4つの中学校区ごとに対話・回収する運動を継続、一般市民対象だけで3371筆集めました。これらの活動を基盤として2019年の県議選では、自民が2議席独占していた一角を崩し野党議員を誕生させ、市議会議員選挙でも立憲・社民・共産など野党6名全員当選を勝ち取りました。八木氏は、各行政区ごとにも市民と野党の共闘は確実に進化（）深化したと結びました。会場から「野党共闘づくりで最初の段階をもう少し話して欲しい」などの質問と答えもあり、感動的な報告に拍手がっぱいでした。

## 【2020年前半の運動提起】

運動提起は憲法共同センター津川知久代表が行いました。“人の道にはずれることをしても恥じることのない安倍政治に終止符を”“地域から職場から新署名をひろげ、わたしたちの手で新しい社会をつくろう”のスローガンに、今年前半の政治日程や安倍壊憲動向を示した上で、野党連合政権樹立の展望も持って新署名に取り組む事を提案しました。この成功のために、兵庫県の総がかり行動実行委が提起している3



／ 24 プレ集会、4 / 7 全県いっせい宣伝、5 / 3・1 万人憲法集会を節目として、新署名のニックネームとして『アベ・ピリオッド署名』で、各団体・諸組織がそれぞれの会員数の数倍から 10 倍の目標をもって取り組もうとうたえました。

### 【団体と地域からの発言】

『明石市』：(明石革新懇・石井氏) ①野党共同による明石公園集会とパレードが続き行動が広がり、ご苦労さん会でも互いの信頼が深まっている。②それでも中央の野党党首会談など明石の野党の方々には殆ど知らされていないので正確な資料で説明している。③新幹線基地問題は、事実にもとづく詳細な資料をつくり単純な賛成・反対ではなく、保守系議員にも勉強してもらう取り組みにしている。

『須磨区』：(共同センター・三好氏) 須磨大丸前での自衛隊武器展示を先に止めさせた経緯もあるので、神戸市が「住民基本台帳上の 4 情報 (氏名・性別・生年月日・住所) を自衛隊に電子媒体で提供」することを許さないたたかいを神戸市では新署名と結びつけようとうたえ。

『北区』：(共同センター・吉田氏) 総会では「コスタリカ映画」の影響で沢山参加され決意がひろがった。各ターミナル宣伝では「憲法生かす会」の方々と共同で、憲法 25 条も取り上げ、宣伝行動は冬は自動車パレード、4 月からは毎月全戸訪問で対話を広げている。

『新婦人』：(県本部・荻野氏) SDG 運動を大きくかかげ、新署名目標は 5 万筆とし全会員に署名用紙 2 枚ずつ配布している。各地の新年 6・9 行動では、イラン幹部爆殺などもあって中学生が「戦争やめよ」で沢山署名してくれたり、成人式でも「自衛隊ありがとうビラ配りの日本会議」に負けないよう、大量参加で圧倒した。ジェンダー問題等でも女性の地位 121 番目というとんでもない国のこともリアルに語り頑張っている。

『灘区』：(オール灘区・田中氏) ①オール灘区は 2 年目に入り今六甲病院廃止問題への市民の怒りが大きく署名が 1 時間の全戸訪問で 300 も集まる状況、②衆議院選挙 1 区の共同のため、東灘・中央・灘の三者が年末から相談会を開始している。

『淡路』：(淡路革新懇・高田氏) まだ野党が入った運動はない。政策学習として産業分析・病院問題・農業の発展などを行っているが政策化は出来ていない。どうやって切り開くかを考えるため今日の交流会で学びたい。

『神戸市中学給食問題』：(井村氏) 神戸市の中学校給食問題の運動も大きく広げてきた。敬老パス問題も含め、市民が要求で大きく団結していく過程にあると考え頑張っている。

『西宮市』：(市民アクション・樫村氏) ① 2 / 24 上脇教授を迎え連合系労組などにもよびかけ成功させたい、②市民アクションは社民系・新社系の方々や無所属議員などにも来て貰い大きな街頭宣伝を 12 月から 2 回行った。衆議院選挙も見据えてさらに共同を深めたい。

『川西市』：(川西革新懇・吉岡氏) ① 3 千万開始時に新婦人・年金者組合とともに 4 つ葉グループなどの方々とともに幅広く実行委をつくり毎月会議で互いに励ましあっている。

②これを基礎に大体 400 人規模の集いを望月さん・前川さんなどを講師にもてるようになり元気になっている。3 / 6 には高作先生で新署名のキックオフ集会を持つ。

『事務局』：(HP 担当・手崎氏) 皆さん方の様々な集会チラシを送って貰えば広く HP に掲載するし、グッズのダウンロード、「安倍さんへの一言イヤミ」も書けるようにしているのでもっと活用してほしい。

### 【まとめと閉会挨拶】

兵庫革新懇宮田静則事務局長は、まず高知県の実態を生々しく、また詳しく勉強出来たことに対し感謝を述べました。高知県はにわかづくりでなく、行政区ごとに全ての野党と市民が共同している姿をしっかり造り上げていること、とりわけ「9・6・3、勝利の方程式」(共闘組織の 9 割を固め、無党派層の 6 割を獲得し、保守の 3 割を崩す) で市民運動によって政治を替えていく道をみんなが共有している水準の高さを兵庫県も早く到達しようとうたえました。その上で①安倍ピリオッド新署名のスタートを早く、②各諸団体も自らの要求運動とこの新署名を結びつけ、③今年中に行われるであろう総選挙勝利へ各選挙区ごとの共同も大きく造り上げよう、とまとめを述べました。



(文責・速水)